

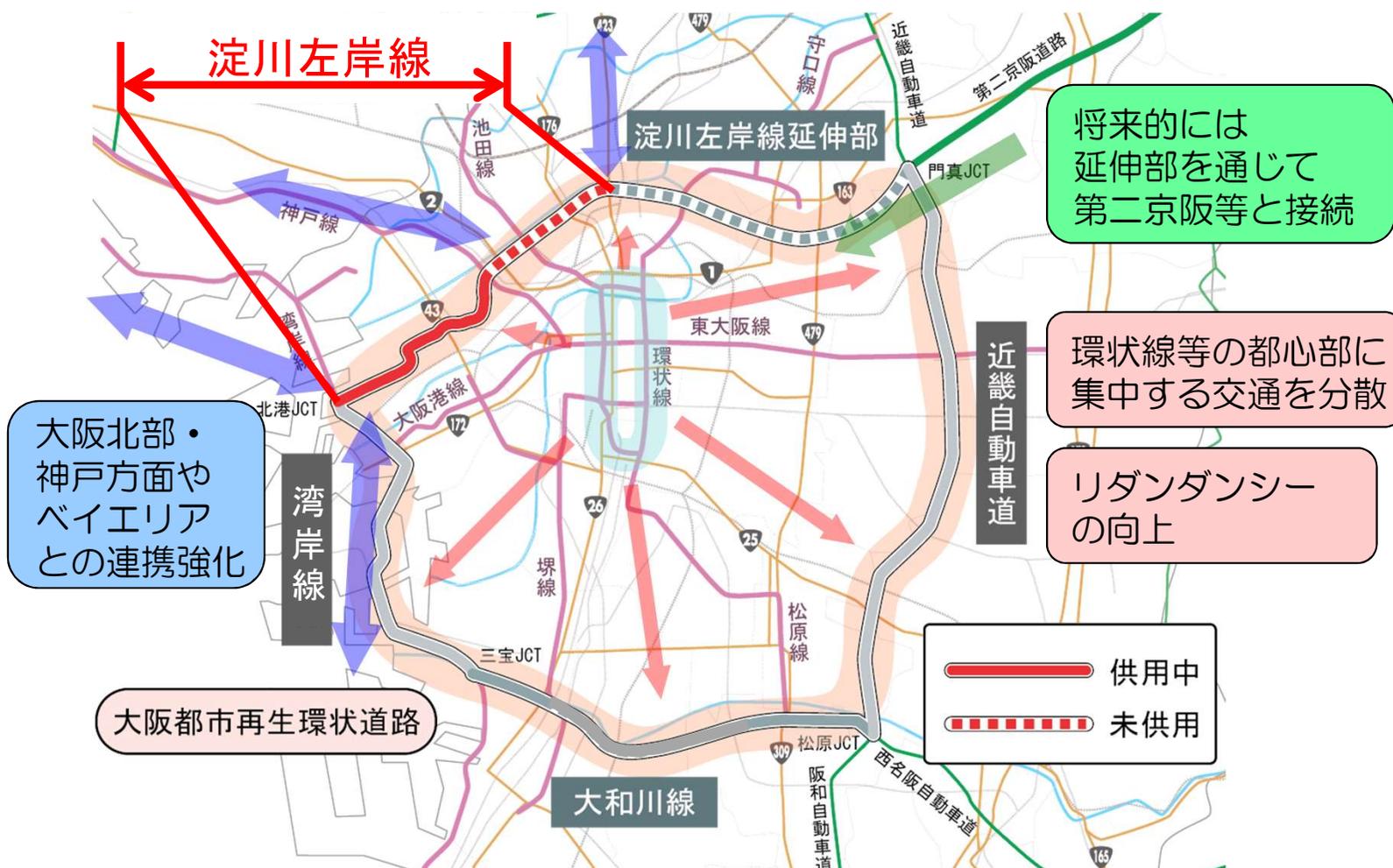
淀川左岸線 事業再評価 説明資料

建設局

令和3年1月

1 事業概要 淀川左岸線について

- 都心部の多数の慢性的な渋滞や沿線環境の悪化等を大幅に解消するとともに、その整備により誘導される新たな都市拠点の形成等を通じた都市構造の再編を促す、大阪都市再生環状道路の一部を構成。
- 大阪湾岸地域と都心北部地域とのアクセス路線として、大阪北部から都心に流入する交通を分散処理し混雑を緩和するとともに、地域の利便性を向上。

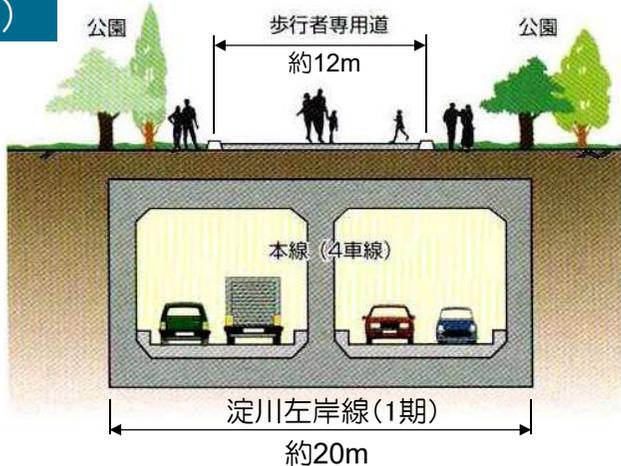


1 事業概要 淀川左岸線の事業概要

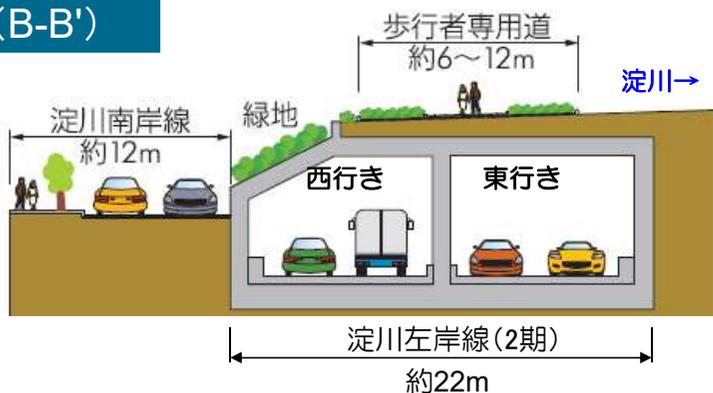
事業区間：大阪市此花区北港このはなく ほっこう ～ 大阪市北区豊崎きたくとよさき
 延長：10.0km（4車線）
 事業費：5,070億円
 構造：トンネル、掘割等

標準断面図

(A-A')



(B-B')



1 事業概要 淀川左岸線(2期)の概要①

淀川堤防と一体となった特殊な構造の整備イメージ

淀川左岸線 (2期)

- ・ 事業者：大阪市・阪神高速道路株式会社 (合併施行方式)
- ・ 延長：約4.4km (うち街路事業 約4.3km)
- ・ 幅員：約22m
- ・ 道路構造：本体(地下・掘割・高架構造) 4車線、
ランプ部(掘割・高架構造)、換気所 2ヶ所

安全で快適な
歩行者空間

淀川南岸線

淀川左岸線 (2期)

現況堤防ライン

環境や景観に配慮した地下構造

1 事業概要 淀川左岸線(2期)の概要②

施設の概要

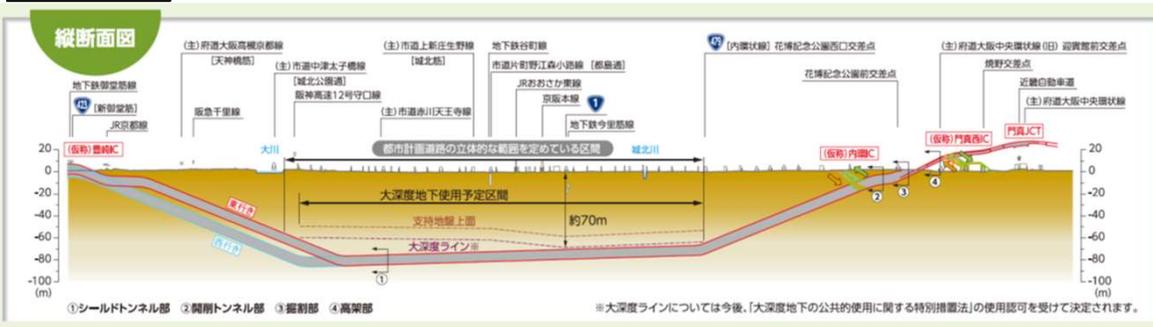


1 事業概要 [参考]淀川左岸線延伸部の概要

位置図



断面図



標準断面図



施設の概要



2 事業の必要性 事業の優先度

■大阪市における当面10年間の都市計画道路の整備見通しを示す「都市計画道路の整備プログラム」内において、淀川左岸線（2期）は優先度の高い事業に位置付けられている

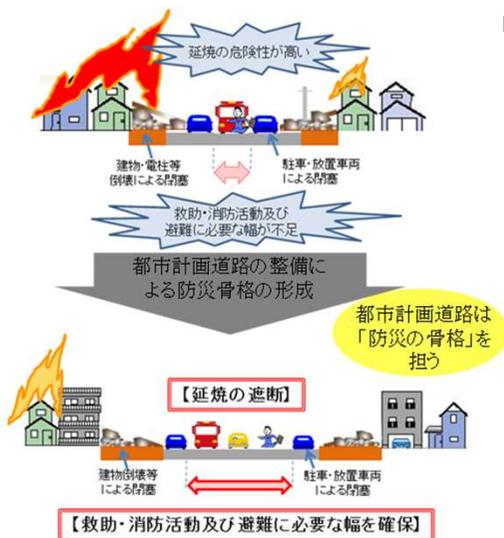
都市計画道路の整備プログラム(H28.9) より抜粋

整備の優先度が高い路線

◆ 密集住宅市街地における防災骨格を形成する路線 ※6 (p.18~24)

「大阪市密集住宅市街地重点整備プログラム(平成26年4月)」に基づき、地震時等において著しく危険な密集住宅市街地における防災性向上のさらなるスピードアップを図るため整備を重点的に推進している、災害時、延焼遮断や救助・消防活動及び避難の空間のために必要な防災骨格となる都市計画道路(防災骨格路線)

「大阪市密集住宅市街地重点整備プログラム 平成26年4月 (<http://www.city.osaka.lk.jp/toshiseibi/page/0000255852.html#program>)



■ 整備事例: 豊里矢田線(東成区)

整備前



整備後



◆ 他事業と連携して進めるべき路線 ※6 (p.18~24)

他のプロジェクトと連携して進めることが事業進捗上有利である、または、先送りすることの影響が大きく他事業の進捗に合わせる必要がある路線

【他事業と連携して進めるべき路線の例】

住宅市街地整備と合わせた都市計画道路整備
中心市街地等の既成市街地における、民間老朽住宅の建替え・共同化を進めるとともに、道路・広場などの公共施設の整備と、それに伴う従前居住者用住宅を建設する事業に合わせて、都市計画道路の整備を進めています。

事例) 生野南部地区事業に合わせた河堀口舍利寺線
密集住宅市街地



連続立体交差事業に合わせた都市計画道路整備
連続立体交差事業と合わせ、鉄道沿いに側道(都市計画道路)を整備することで、良好な環境の保全や地域の利便性、防災性等が向上します。

事例) 阪急連立事業に合わせた付属街路

(整備事例:南海本線(萩之茶屋・玉出間)連続立体交差事業)

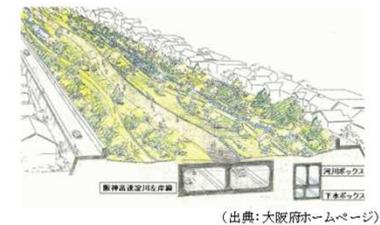
自動車専用道路の整備事業と合わせた都市計画道路整備
自動車専用道路が接続する路線の整備を行うことで一体となって交通の円滑化等の整備効果を高めます。

事例) 淀川左岸線の整備と合わせた淀川南岸線



複数の事業主体で共同実施する事業における都市計画道路整備

事例) 正運寺川歩行者専用道
阪神高速道路(株)、大阪府、大阪市の三者が主体となり、正運寺川を陸地化し、河川ボックスや下水ボックス、高速道路(淀川左岸線)を地下に整備、さらに高速道路の整備に伴い創出される上部空間を利用し、地域の災害時の避難空間の確保や生活の安全性、快適性の向上をはかるための公園と歩行者専用道(都市計画道路)の整備を進めています。



◆ 淀川左岸線(2期)【自動車専用道路】

「大阪都市再生環状道路」の一部を構成する自動車専用道路で、市中心部の渋滞緩和や市街地環境の改善を図るとともに、近畿圏の広域道路ネットワーク強化に資する路線のうち、大阪市の街路事業と阪神高速道路株式会社の有料道路事業との合併施行にて事業中の区間

◆ 整備により得られる効果が特に高いことから早期に整備するべき未着手路線 ※6 (p.18~24)